

# 現場を見て聞くことの大切さを痛感する

## 取り返しのつかない原発事故 分断され苦しみ続けさせられる人々



伊丹空港・出発

この地域では浸水被害が度重なり、浸水対策工事途中の被害もあること。ハザードマップの浸水想定区域への対策の遅れや大丈夫と言っていた広大な中央工業団地が水没、復旧が案じられ、住民の苛立ちの声も懇談の中で聞かせていただきました。

ツアーは、浸水被害の現場見学や原発事故後の漁業の現状についての研修会、いわき市民訴訟原告団長の「被害の現状と課題」の学習会など盛りだくさん、充実した3日間でした。

「実際に見て、お話を聞くことができてよかったです。周りの人伝え、自分にできることをやっていきたい」と参加者一同感激し、私も感謝の気持ちで一杯です。

初日の17日。福島空港から郡山センター（日本共産党など）の団体で構成）へバスで直行し、説明を受けました。

ツアーは、浸水被害の現場見学や原発事故後の漁業の現状についての研修会、いわき市民訴訟原告団長の「被害の現状と課題」の学習会など盛りだくさん、充実した3日間でした。

救援ツアーや日程が決まり、応募が終わつた直後の台風19号の襲来。阿武隈川の決壊・氾濫による浸水被害が大きかった郡山市などへのツアーガ可能なのか案じていましたが、実行委員会と地元のみなさんの連携で無事実行できました。

第9回東日本大震災救援ツアーや日本共産党兵庫県委員会女性後援会が11月17～19日の3日間実施されました。人が参加しました。

## 忘れないそして連帯を

葛藤しつつがんばる



ハザードマップと実際の浸水地域の図面を示しながら報告中の委員長

高橋委員長は「自分たちも被災者であり、そのうえ住民のために一体何ができるか悩みました。が、市民や県民の役に立つことが日本共産党的使命と奮い立つことを手立てをすることに奔走しています。」と声を詰まらせながら発言。「苦難あるところに日本共産党的真の役割がある」としながらも様々な葛藤があることが想像できます。私たちにできる支援を続けなければと改めて身を引き締めました。

政府にも申し知れ

日本共産党国会議員団からは台風・豪雨災害で政府に申し入れ（18日）を行っている岩渕友

参議院議員が駆けつけてくれ、避難所の生活環境の改善・整備、被災者の生活と生業を支える対応を求めていたことや訪問した私たちへの連帯・感謝の挨拶がありました。

その後、水没した現場を視察。県議会議員選挙（11月10日）後も取り組んでいた伊東達也さん（現原発問題住民運動全国連絡センター筆頭代表委員・原発事故被害いわき市民訴訟原告団長・全国革新懇代表世話人）から、裁判の現状を含め「福島原発事故から8年7か月、被害の現状と課題」の講演がありました。

事故前に廃炉を

人間・くらしの復興を

リゾート（炭鉱からの再生・映画フラガールで有名に）に到着。

原発事故当時、病院理事長（129床）・医師として従事しながら、チエルノブイリなどの原発事故被災者の生活と生業を支える対応を求めていたことや訪問した私たちへの連帯・感謝の挨拶がありました。

また、甲状腺がんと放射線被ばくの因果関係について、18歳未満の検査結果を示しつつ、甲状腺検査評価部会のまとめでは「現時点で関連は認められない」としていること、上部組織・県民健康調査検討委員会は「肯定・否定とも断言することはできない」と付記した異論を紹介したうえで、自分たちは「原因論争に終わらせず、県民に寄り添った検診と医療費無料化。事故当時18歳未満県民の健康診断生涯無料実施の仕組み作り、対応の充実」を求めるとともに署名活動をしているとの報告がありました。



神山県議・岩渕参議院議員・大沢元参議院議員



浸水状況を現場で報告してくれる大橋さん



水没した車

伊東さんは、広島・長崎の原爆被害との共通性にも触れながら、人間の復興、くらしの復興こそ重要。被災者が長年受けた苦しみ・葛藤、被害の実相をつかんでほしいと訴え、津波被害が想定内・人災であつたにも関わらず対策をしなかつた東電の責任を追及。原発は廃炉しかないと厳しく求めました。

※日常が一瞬に壊された実態、福島県の漁業については、たんぽぽだより207・次号に続きます。

ツアーリアル委員会を代表して大沢たつみ元参議院議員・実行委員長が、女性後援会救援バザーの売上金の一部を手渡し、激励の言葉とこれからも連帯していく思いを伝えました。

その後、宿泊先の「いわきスペ

役会は、第二原発4基を廃炉にすることを決定しました。伊東さんは、「県内全10基廃炉」を強く求めた県民の声が追い詰めた結果としつつも「原発事故はいつ起こると取り返しがつかず、事故が起こる前にすべての原発を廃炉にしなければならない」と強く語られました。

伊東さんは、広島・長崎の原爆被害との共通性にも触れながら、人間の復興、くらしの復興こそ重要。被災者が長年受けた苦しみ・葛藤、被害の実相をつかんでほしいと訴え、津波被害が想定内・人災であつたにも関わらず対策をしなかつた東電の責任を追及。原発は廃炉しかないと厳しく求めました。